入学式が２年ぶりに挙行

新入生特別歓迎号

都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高校同好会

１６２名新たな門出

例年より早く桜が満開から新緑へと変わり始めた４月。今年は例年通りの日程で入学式を迎えることとなりました。全日制課程１５９名、定時制課程３名のみなさん、入学おめでとうございます。新たなステージを私たちと一緒に過ごしましょう。

宣誓を行う新入生の様子

令和３年（２０２１）４月８日、都留高校入学式が行われた。昨年はコロナ禍の中、実施することができなかったが、今年は、感染症予防をしつつ、無事行うことができた。式は例年より席と席の距離を開け、簡略化したものであったが、厳粛なムードの中行われ、新入生の真新しい制服とともに新たな門出となるものであった。

今年の入学生は全日制課程１５９名、定時制課程３名の合計１６２名であった。

校歌を披露する合唱部のみなさん

今、注目の人　廣瀬校長先生

今回は今年から都留高校に赴任された廣瀬浩次校長先生にお話を伺いました。

Ｑ１．高校時代はどんな学生でしたか？

Ａ１．バレー部に所属し皆さんと同じように文武両道を貫いてきたつもりです。私は化学が専門なのですが、中学のときの理科の先生の影響を受けて化学が好きになりました。実験をする中で色々な現象を見て、それを化学的に説明できる化学に魅力を感じました。最初は研究者ということも考えましたが、教育実習を通して皆さんに化学の楽しさを伝えたいと思い、高校の先生になりました。高校時代の思い出は化学の授業で毎回宿題になるレポート作成です。色々調べながらレポートに反映させていくので大変でしたが、先生が評価してくれたため頑張ることができました。また映画を作ったことも思い出に残っています。理科は色々な現象を見るので映像がとても大事です。だから動画を使ったり編集したりした高校時代の経験が自分の授業に活きていたと思います。

廣瀬新校長先生

Ｑ２．都留高校の印象はどのように感じていますか？

Ａ２．以前にも都留高にいたことがあるのですが大きくは変わっていません。真面目で何事も一生懸命に取り組む生徒が多く、生き生きとした学校生活を送っていると思います。私がこの学校に来て衝撃を受けたのが学園祭です。都留高の学園祭は生徒が主体的につくる学園祭だと思います。合唱コンクールもレベルが高いですし。非常に感激しました。勉強だけでなく学校行事も頑張る学校だと思います。

Ｑ３．今後、都留高をどうしていきたいですか？

Ａ３．ベースになるのは２つの校訓です。質実剛健は他校でも使われている校訓ですが、自学進取は都留高校独特の校訓ですよね。自学進取という言葉自体は人にとらわれずに自ら学び、従来の習慣にとらわれずに進んで新しいことをしていこうとするという言葉です。自分の道は自分で切り拓いていき、より質の高い文武両道を目指してほしいです。また、自分自身に対しても思いやり、優しさを持って生活してください。これからの時代は予測困難なのでたくましさ、力強さのある生徒になってほしいと思います。よく目標を掲げろと言いますよね。目標を達成するには３つ必要なことがあります。１つ目は目的意識を持つ、２つ目は良いことは続ける、３つ目は規律正しい生活をするということです。目標を掲げる上で大切にしてください。

Ｑ４．都留高生に一言お願いします。

Ａ４．これは私の好きな言葉なのですが、今を大切にしてほしいです。目標にはすぐには辿りつきません。そのために皆さんは長期的な計画をたてますよね。でも最後は日々の積み重ねが大事になると思います。皆さんにとってはかけがえのない高校生活です。私たち教員は毎年生徒を送り出していますが、皆さんはその時だけです。もちろん、難しいこともあって思うようにいかないこともあるかもしれません。進むことも大事だけど立ち止まって振り返ることも大事じゃないでしょうか。今を大切にしてください。

自学進取

最近のアイドル達のマルチな活躍ぶりはすごいと思う。ＮＥＷＳの加藤シゲアキ『オルタネイト』（新潮社）を読んだ。直木賞候補のみならず吉川英治文学新人賞を受賞したこの作品は高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代をモデルとしている。スマホを使ったすぐにでも実現しそうなこの「オルタネート」にも作品中、アプリのミスが起きている。確かにスマホで何でもできる世の中になりつつあるが、それが恐怖すら覚える人も少なくないようだ。今ベストセラーのアンデシュ・ハンセン『スマホ脳』（新潮社新書）はスマホ社会に生きるわれわれの脳をスマホの使用によって蝕む現実を解説している。例えば、今の若者は「ＳＮＳのせいで自分は魅力的でないと感じ」「満足度が低」くなっている。また英国では「生徒たちは朝スマホを預け、学校が終わると返してもらう。その結果、成績が上がった」というデータもあるようだ。かくいう私も暇さえあればスマホを手に取っている。「スティーブ・ジョブズを筆頭にＩＴ業界のトップはわが子にデジタル・デバイスを与えないという」。これからスマホの使用を控えようと思う。（顧）

新入部員大大募集

新聞同好会では現在、部員を大募集しています。将来マスコミ関係の就きたい、憧れの先輩に近づきたいたの動機は何でも構いません。また今までの部員はどこかの部との兼部でしたので、安心して活動できます。希望者は職員室奥の顧問の木内のところまで来てください。

大月（くいだおれ）紀行

『革とコーヒーとアウトドアに、なりたい店』編

店構えの様子

今回は大月駅を出て、右に曲がって、甲斐ゼミの前の道路を通って、右に曲がったところの道にある『革とコーヒーとアウトドアに、なりたい店』を取材しました。

Q. お店をはじめたきっかけは？

A. 元々、実家が鳥沢なんです。仕事は、革細工の制作をしていました。それをやるために、工房にできそうな場所を探していて、元々千葉のほうで工房とショップなどをやっていたんです。縁があってこの場所を借りれることになったので、「じゃあ同じスタイルで大月でもやって、そうしたら、工房もできるかな。」って。本当に偶然的でしたね。

Q. どのようなお店ですか？

A. すごい難しい質問ですね（笑）
そうですね、ふらっと気になって入ってもらって、コーヒーを飲むだけとか、見るだけとか、革のお話をしながら、オーダーなどを承ったり、そういうことをお茶をしながらできる場所であったらなぁ、と言う感じです。

Q. 大月市を活性化したいと伺ったんですが、具体的には？

A. 大月はお店が少ないので、お店をやることによって、少しでも人の流れがつくれるかなって。こういうお店は他にないので、近所の人も来てくださっています。あと、Webでもショップの物を販売してるので、大月になったことで、「今度、大月方面に行くから寄るね。」って言う人が増えてきていて、東京とか行く時に途中に寄ってもらえれば、嬉しいなと。

Q. 若い人に向けて、オススメはありますか？

A. 一番手軽なのは、コーヒー牛乳ですね。ここに寄る理由として使っていただいてもいいです。もし、コーヒーに興味があるなら、セルフドリップっていうのを今、試験的にやっているんですけれども、店頭で販売している豆を50ｇから、買うことができます。買ったら、道具を貸すので自分で入れることもできるというサービスをやっています。あとは、焼き菓子があります。地元に住んでいる料理家の方がいらっしゃるんですけれど、新聞にも毎日、レシピを載せていらっしゃる方なんです。その方の焼き菓子を置いていることが多いです。オススメですよ。とても美味しいです。また、都留市の『Cafe Naturalrhythm』の焼き菓子を仕入れています。以前は、千葉の方のドーナツを仕入れていました。様々なお菓子があるので楽しんでもらえたらなと思っています。近所の方も、以前、角のところにパン屋さんがあったと思うんですけれど、あそこがなくなってからおやつを買うところがないと言っていたので、気軽に寄ってもらっています。

Q. 都留高校生に向けて、一言お願いします。

A. 見るだけでも気軽に来てもらって大丈夫なので、ぜひ来てください。ちょっと今コロナで様子見なんですけれど、もし勉強会とかをやるなら二階にスペースがあるので、相談してくれれば貸せることもできますよ！

とても気さくな方で、お話がしやすかったです！ぜひ、皆さんも暇な時に行ってみては。
営業時間：金～月　14:00～18:00
定休日：毎週水曜日
※月によって変動あり

今年度都留高校行事紹介

４月　入学式
　　新入生オリエンテーション
５月　総体
６月　第１回定期試験
　　若鶴祭
７月　野球応援？
８月　夏休み
９月　第２回定期試験
　　体育祭
　　新人戦
10月　第３回定期試験
11月　修学旅行（二年生）
12月　スキー教室（一年生）
令和４年（２０２２年）
１月　共通テスト（三年生）
　　第４回定期試験
２月　卒業式
３月　都留探究プロジェクト
　　全体会
　　球技大会
　　終業式・離任式

都留高校の秘密（新入生に向けて）

都留高ニュースではこれまで都留高校の秘密を記事にしてきました。それを新入生のみなさんに紹介します。（再掲）

都留高校の校章について

都留高校の校章

都留高生全員がつけているこの校章。それには深い歴史がありました。デザインは当時の美術部員の応募によるものでした。意味としては「新制高校の『高』の下にそれを支えるように一羽の折り鶴」を配したものです。

都留高校の校歌について

行事ごとに歌われる校歌。校歌の歌詞は文学博士・金子彦三郎氏作曲は国立音楽大学教授・小松清氏に依頼し長い伝統に培われた剛健不抜の精神と新しい時代広い世界に生きる若鶴の気概を謳ったものです。

都留高校の校訓について

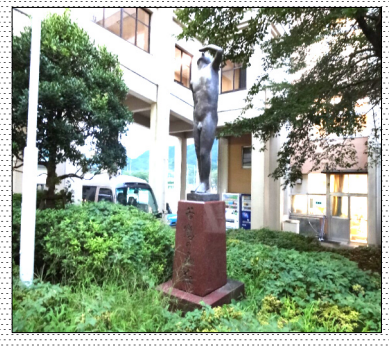
校訓としての（五条訓）では戦後の民主化の波の中でその使命を終えました。しかし、その精神は新制高校の中でも生かされ、その後校風として定着したのが「質実剛健」の精神だったようです。のちに改めて（五条訓）を見直した三枝満校長先生は「自学進取」を新たな校訓とすることに決めました。

ちゃらんぽらんの鐘について

ちゃらんぽらんの鐘は一年と三年の昇降口にあります。鐘の下にある石碑にはこのように書いてあります。「この鐘は都留中学校創立当初から始業終了の時刻を告げてきたたれいうとなく鐘のメロディーから‘ちゃらんぽらんの鐘’と呼ばれ朝夕親しまれた昭和四年卒業生一同が卒業五〇年記念としてこれをたてた。」

謎の彫刻について

体育館とハンドボールコートの間にある彫刻は「若鶴の飛翔」という名前を持っています。この彫像は平成九年三月一日に平成五、六、七、八年の卒業生の紹介でこの都留高校に建てられました。鼻をつまんでいるように見えますが、実際は空を見上げているとのことです。



グラウンドの土の違いについて

野球部前顧問の柏木先生によると野球部の黒い土は『黒土』という柔らかい土だそうです。土が硬いと野球ボールがバウンドするためそれを防ぐ緩衝材のような役割をしてくれます。サッカー部の土は硬く、野球をするには向かず安全性のために『黒土』を使っているとのことです。

大月にあるのに都留高校なのはなぜか？

都留高校の最も根源的な不思議、都留高校はなぜ大月にあるのに都留高校なのかについて小俣元事務長にお話をお聞きしました。

「都留高校は明治33（１９００）年に山梨県中学校都留分校として南都留郡谷村町（現都留市）に建てられました。その後明治35年（１９０２年）に北都留郡大月（現大月市）に移転されました。（都留高校の名の）理由としては**南北都留両郡の中央に設置されたから都留という名前を使用した**のではといわれています。」